



小田開発工業株式会社

ODA DEVELOPMENT INDUSTRY Co., Ltd.



新プロジェクトイメージ

- 本社所在地：大分県佐伯市海崎848-1
- 事業概要：土木建築工事その他建設、電気、管工事全般の請負、企画、測量、設計、施工、監理、太陽光発電事業、新電力コンサルティング 等
- 常時使用する従業員：36名（2025年5月）
- 現在の売上高：18億円（2024年8月期）
- 法人番号：7320001008879
- Web：https://odakaihatsu.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小田 剛史

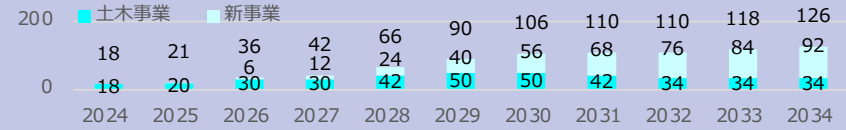
災害時に仮設住宅としても活用できる民営トレーラーホテル

災害大国日本において、有事における被災者のライフライン確保は、現在国家の課題となっています。現在の法制度上、国が過去に建てた仮設住宅などのインフラ設備は他所での流用ができないため「使い捨て」の予算となっています。その都度国がその安全を保障することには限界があり、その負担を各地方公共団体へ求めているのが現状です。その強力な備えとなる事業こそが、民間による『トレーラーホテル』運営です。インバウンド需要や緊急移民対策にしても、都市部に比べ地方には長期滞在可能な施設が足りておらず、スピーディーに配備でき・安価で利用可能な宿泊施設の確保が急務です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売上高達成に向け、コンテナ工場の生産ラインを確立し、5年で国内50エリア2500部屋を確保



課題

- ・ハザードマップに抵触しない交通インフラの整った土地の確保と、そのマーケティング及びライフライン工事調査
- ・スマートフォンによる自動チェックインサービスとの連携
- ・売上管理システムの構築
- ・現地リネンクリーニング清掃会社との委託提携
- ・コンテナ輸送コストの削減

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・単なる箱を並べたコンテナホテルではなく、まだこの業界には浸透していないデザインの要素をしっかりと織り込み、まるでお店が集まったモールのような「ヴィレッジ（集落）」を創造します。
- ・オリジナルデザインのトレーラーハウスは、単体としても安価で販売可能なため、一般家庭や業務用に設置販売を強化し、全体の10%の売上を目指します。

実施体制

- ・アートディレクターを事業監修に迎え、ライフライン工事から環境デザインを取り入れます。高評価いただいている本業の公共インフラ土木建築
- ・エネルギー事業の経験と実績を生かし、もう100歩進んだ「新しい公共」を示すことができる施工体制を構築。